

『日商簿記2級 統一試験・団体試験模擬問題集』 (Ver. 3.0)

<訂正一覧表>

下記の回数、問題文の内容に誤りがございました。謹んでお詫びを申し上げますとともに、下記の訂正を致しますので、大変お手数をお掛けしますが、ご対応の程、よろしくお願いいたします。

日本商業教育振興会

I クール 第4回 第4問 問題(2) 問題文 本冊 44 ページ

誤り(訂正前)	正しい(訂正後)
<p>問2 勘定記入の方法をパーシャル・プランによった場合の答案用紙に示した仕掛品勘定のうち、製造間接費に関する金額を答えなさい。なお、標準原価差異の欄は不要な場合「-」と記入すること。</p> <p>問3 勘定記入の方法をシングル・プランによった場合の答案用紙に示した仕掛品勘定のうち、製造間接費に関する金額を答えなさい。なお、標準原価差異の欄は不要な場合「-」と記入すること。</p>	<p>問2 勘定記入の方法をパーシャル・プランによった場合の答案用紙に示した仕掛品勘定を答えなさい。なお、標準原価差異の欄は不要な場合「-」と記入すること。</p> <p>問3 勘定記入の方法をシングル・プランによった場合の答案用紙に示した仕掛品勘定を答えなさい。なお、標準原価差異の欄は不要な場合「-」と記入すること。</p>

II クール 第4回 第4問 問題(2) 問題文 本冊 104 ページ

誤り(訂正前)	正しい(訂正後)
<p>(2) 京都パン製作所では、パンを生産・販売しており、実際総合原価計算を採用している。次の[資料]にもとづいて下記の問に答えなさい。原料はすべて工程の始点で投入している。なお、正常仕損品は工程の途中(加工進捗度 50%の地点)で発生し、1個当たりの処分価額は0円である。また、当月発生した原価差異は売上原価に賦課するものとする。</p>	<p>(2) 京都パン製作所では、パンを生産・販売しており、実際総合原価計算を採用している。次の[資料]にもとづいて下記の問に答えなさい。原料はすべて工程の始点で投入している。なお、正常仕損品は工程の途中で発生し、1個当たりの処分価額は0円である。また、当月発生した原価差異は売上原価に賦課するものとする。</p>